

第三章活用事例

小学校五・六年生版「心たくましく」
「自分の夢や目標に向かって」

p.96
～
p.97

中心資料

「私たちの道徳」小学校五・六年 平成二十六年三月
文部科学省 「へレンと共に」―アニー・サリバン―

【主題名】

希望をもって、前向きに生きる

第五学年及び第六学年 1-②

「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」

【ねらい】

より高い目標を立て、希望と勇気もち続け、くじけないで努力していくこととする意欲を育てる。

《ねらいとする道徳的価値について》五・六年生の時期の児童は、夢や希望をふくらませたり、ある人物の生き方にあこがれたりするようになります。一方で、夢と現実との違いに悩み、自分に自信がもてなかったりする場面も見られます。夢や希望を実現するには、自分で自分を支え努力し続けていくことが必要であることを理解させ、目標に向かって日々進んでいくこととする意欲を育てることが大切です。



「この人を、知っていますか。」

導入

○へレン・ケラーとアニー・サリバンの写真を掲示して二人を紹介し、資料への興味をもたせましょう。

○教師が「へレンと共に―アニー・サリバン―」を読み聞かせましょう。



「アニーは、へレン・ケラーの家庭教師になることを引き受けたとき、どのような気持ちだったでしょうか。」

○アニーが視力を取り戻したときの喜びや、目や耳の不自由な人たちの役に立ちたいという決意と努力に着目させ、アニーが家庭教師を引き受けたときの強い思いを捉えさせましょう。



「へレンへのきびしい教え方に、まわりの人からかげろを言われたとき、アニーは、どのような気持ちだったでしょうか。」

○へレンをいすに座らせようと、一時間でも二時間でも根気強く教え続けるアニーの姿に着目させ、へレンのわがままを直し言葉を理解させるという目標に向かって困難に屈せず努力を続けるアニーの強い意志を捉えさせましょう。

中心発問

「へレンが、『WATER(水)』という言葉を理解したとき、アニーは、どのような気持ちだったでしょうか。」

○何度も「WATER」と書いた様子から、へレンの喜びの大きさに気付かせ、そこまで導くことができたアニーの達成感やへレンとの喜びの共有を捉えさせましょう。

《評価》 目標を達成するために、希望と勇気もち、困難に立ち向かい、あきらめず努力を続けることの大切さに気付くことができたか。



「あなたは今、どんな夢や目標をもっていますか。その夢や目標に向かって、どのような努力をしていますか。」

○「心たくましく」 p.96
～
p.97 「自分の夢や目標に向かって」を活用し、自分の夢やその実現に向けて努力することを書き込ませましょう。

○教師自身が、あきらめずに努力を続けて目標を達成した体験を、子供たちに語りましょう。

終末

○「心たくましく」 p.96 のアランの言葉をみんなで読み、努力の大切さを確かめて、授業のまとめにしましょう。

板書例

【資料の特徴】中心資料の「へレンと共に―アニー・サリバン―」は、へレン・ケラーの家庭教師だったアニー・サリバンが、目も耳も不自由なへレンを全力で受け止め導いていく姿を描いた読み物です。「自分の夢や目標に向かって」は、自分の将来の夢を実現させていく道筋を考えたり、小さな努力を積み重ねていくことが目標の達成につながることに気付いたりできるページになっています。

へレンと共に ―アニー・サリバン―

アニーは、へレン・ケラーの家庭教師になることを引き受けたとき、どのような気持ちだったでしょうか。

- 目も耳も不自由で言葉も話せない子の家庭教師が、自分にとまるだろうか。
- 目や耳の不自由な人の役に立つことが、自分の夢であり、そのために努力してきたのだ。
- 自分にどこまでできるかは分からない。それでも、自分にできるかぎりのことをしよう。

へレンへのきびしい教え方に、まわりの人からかげろを言われたとき、アニーはどのような気持ちだったでしょうか。

- 言いたい人には言わせておけばいい。自分のやり方はまちがっていないはずだ。
- 誰に何と言われようと、へレンのわがままを直し、言葉を理解させてみせる。
- へレンの成長のためには、これしかないのだ。みんないつか分かってくれるはずだ。

へレンが、「WATER(水)」という言葉を理解したとき、アニーは、どのような気持ちだったでしょうか。

- どうとうへレンが言葉というものを理解した。ここまではあきらめずに努力してきた本当によかった。
- へレンがこんなに喜んでることが、自分のことのようにうれしい。
- たった一つの言葉だが、大きな大きな前進だ。
- 自分が努力を続けてこられたのは、へレンのおかげだ。ありがとう、へレン。

あなたは今、どんなゆめや目標をもっていますか。そのゆめや目標に向かって、どのような努力をしていますか。

- パティシエになりたい。そのために、雑誌のケーキやお菓子のお店の記事を切り抜いたり、気になったお菓子の材料や作り方を調べて、自分で作ってみたりしている。お菓子だけでなく、いろいろな国の食文化の違いや歴史も勉強して、本当に喜ばれるお菓子を作れるようになる。
- 苦手な算数が得意になりたい。そのために、毎日三十分ずつ、家で一年生の内容から復習をしている。分からないことを分からないままにしないで、先生や友達に聞いて分かるようにしていくことを、これからも続ける。

《評価》

より高い目標を立て、希望と勇気もち続け、くじけないで努力していきこうとする意欲を育てることができたか。